

月刊 星空の散歩道 5月号

2023年

5月上旬 21時ごろ

5月下旬 20時ごろ の空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



つき わくせい せい ざ
月や惑星・星座を
さが 探してみよう！



5月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座が、南の空に春の星座が見えています。

- < 西 > こいぬ座 (プロキオン)、ぎょしゃ座 (カペラ)、
ふたご座 (カストル、ポルックス)、かに座
- < 南 > しし座 (レグルス、デネボラ)、おとめ座 (スピカ)、からす座
- < 東 > うしかい座 (アルクトゥルス)、てんびん座
- < 北 > 北極星、おおぐま座、こと座 (ベガ)

☆天文トピック☆

5月23日 月と金星が接近

西の空で細い月のすぐ近くに、とても明るい金星が輝いて見えます。

5月24・25日 月と火星が並ぶ

月の近くに火星が見えます。火星は今シーズンそろそろ見納めです。

5月31日 月とスピカが接近

月の少し下におとめ座の一等星スピカが見えます。星をたどって「春の三角形」も探してみましょう。

☆月の形の変化☆

5月 6日	満月	○
5月 12日	下弦	◐
5月 20日	新月	●
5月 28日	上弦	◑

☆5月の惑星☆

金星…日没後、西の空
火星…日没後、西の空

<天文コラム> 銀河の形

「銀河」と聞いてどのような形を思い浮かべますか？銀河の形はアメリカの天文学者エドウィン・ハッブル（1889-1953）が次のように分類したものが、現在でも広く使われています。

- ・円形やラグビーボールのような楕円銀河
- ・渦巻きのような構造をもつ渦巻銀河
- ・凸レンズのような形のレンズ状銀河
- ・どれにも当てはまらない不規則銀河

春の夜空で北斗七星のそばに見られるりょう

けん座の「M51」は、大きな銀河（渦巻銀河）

が手前にあり、後方の小さな銀河（レンズ状

銀河もしくは不規則銀河）が重なり、2つの銀河がつながっているように見

えます。そのため「子持ち銀河」の愛称で親しまれています。複数の銀河が

集合すると、引力の相互作用で形がゆがめられる機会が多くなります。子

持ち銀河の2つの銀河は数十億年後には合体して1つの銀河になると考

えられています。望遠鏡などをのぞくチャンスがあれば、仲良く手をつないだ

ような姿を想像しながら、本物の銀河を眺めてみてはいかがでしょうか。



M51 (当館スタッフ撮影)

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2023年4月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>